


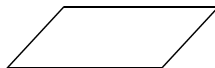
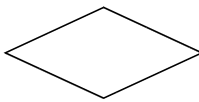
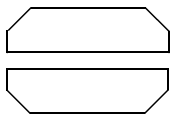
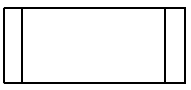


フローチャートのきまりについて

フローチャート (flow chart) は処理の流れを簡単な図で整理して表すのに使います。

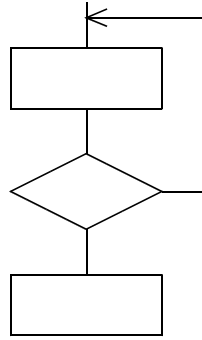
それぞれの部品は "JIS X 0121:1986" 「情報処理用流れ図・プログラム網図・システム資源図記号」により規格化されています。ここでは、ココナッツのプログラミングに使うであろう内容について抜粋して載せます。

フローチャートで使う記号

記号	名称	意味
—	流れ線	処理の順序を表す。順序を明確にするために、矢印をつけることもある。
	端子	処理の開始・終了を表す。
	処理	一般的な処理を表す。
	準備	変数の宣言や初期値の設定などの処理を表す。
	入出力	データの入出力を表す。
	分岐	条件により、流れが2つ以上に分岐する処理を表す。
	ループ端	繰り返しの開始と終了を表す。
	定義済み処理	別に用意した処理 (サブルーチン) を利用することを表す。

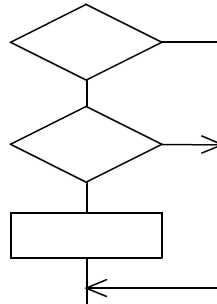
フローチャートの書き方の決まり

- ① 処理の流れの方向は「左から右へ」、「上から下へ」とする。これ以外の場合は、矢印を使って明示する。



- ② 流れ線は互いに交差してもよい

- ③ 2つ以上の流れ線を集めて、1つにしてもよい。



フローチャートの基本的な書き方例

